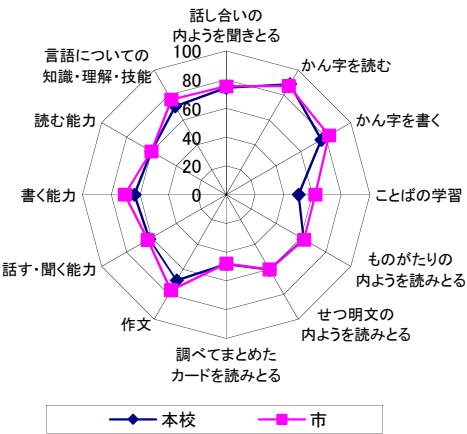


宇都宮市立御幸小学校 第3学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
問題の内容別	話し合いの内ようを聞きとる	74.4	75.4
	かん字を読む	88.7	87.2
	かん字を書く	76.4	82.5
	ことばの学習	50.3	62.0
	ものがたりの内ようを読みとる	62.1	62.5
	せつ明文の内ようを読みとる	60.3	60.3
	調べてまとめたカードを読みとる	48.3	48.0
	作文	68.8	76.8
観点別	話す・聞く能力	61.8	63.0
	書く能力	63.9	70.6
	読む能力	60.2	60.2
	言語についての知識・理解・技能	71.0	76.3



★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの内ようを聞きとる	・市平均とほぼ同じ正答率である。 ・話し手の話し方の工夫の共通点に気を付けて聞き取る問題で、適切な選択肢を選ぶことができていない。	・相手を意識した話の仕方や聞き方を日ごろから意識して指導していく。 ・朝の会や帰りの会などにおいて、話したり聞いたりする機会を多く設け、話の内容を正確に捉える力を養う。
かん字	・「読み」は、市平均とほぼ同じ正答率であるが、「書く」は市平均を6%下回っている。 ・特に「公園」「後ろ」の書き取りの正答率が低かった。	・既習漢字は普段の生活や学習で使用するよう日頃から指導していく。 ・当該学年以下の学習も積極的に復習させる。 ・読書を奨励し、漢字と触れ合う機会を多く持つようにさせる。
ことばの学習	・市平均より12%下回っている。 ・特に国語辞典の使い方とローマ字の読みの正答率が低かった。	・日頃の学習で、国語辞典を活用していく。 ・ローマ字は、家庭学習でも復習をさせ定着を図る。
ものがたりの内ようを読みとる	・市平均とほぼ同じ正答率である。 ・登場人物の気持ちを読み取る問題の正答率が低かった。 ・場面の移り変わりを読み取る問題の正答率が低かった。	・登場人物の会話文や行動描写から気持ちを読み取れるように指導していく。 ・本に親しませることで語彙を増やし、時や場所を表す言葉に着目させ場面を分けられるように指導していく。
せつ明文の内ようを読みとる	・市平均とほぼ同じ正答率である。 ・文章の要点に注意して読み取る正答率が低かった。	・要点に注意して読み取るために、重要な言葉に着目する方法を想起させながら、まとめる学習を繰り返していく。 ・読書を奨励していくことにおいて、説明的文章の面白さや良さを伝えていく。
調べてまとめたカードを読みとる	・市平均とほぼ同じ正答率である。 ・資料を読み取ったうえで、適切な言葉づかいで、書き表すことができない。	・適切な言葉づかいで話せるように、学校生活全体で繰り返し指導していく。
作文	・市平均より8%下回っている。 ・指定された長さで文章を書くことができなかった。	・家庭学習などにおいて、日記指導を充実させていく。 ・普段から長い文章を書けるよう意識して指導していく。